

現地観測施設の被害・障害

- ・地震による直接的な被害
津波による施設の流失・被害(含む水没)、ゆれによる施設被害、液状化による基礎の傾き・陥没、観測機器の故障。
- ・通信回線による障害(Hi-net/F-netはEarthLAN、K-NET/KiK-netはISDN等)
現地回線や収容局の障害により通信が途絶した場合には、リアルタイムのデータ伝送・回収は不可(現状は衛星回線等のバックアップ回線は措置されていないため)。この場合、現地収録で観測がメモリ容量の範囲内で継続される。
- ・停電による障害
商用電停電後は、バックアップバッテリーで観測が継続されるが、停電が長時間※に及ぶ場合には欠測となる。
※Hi-net/F-net: 通信を含む全機能: 最大50分、現地収録最大21時間。K-NET/KiK-net: 全機能: 最大1日、現地収録: 最大6日

データセンター(つくば)の被害・障害

- ・地震による直接的な被害
地震の発生に伴い震度6弱の揺れに見舞われたことにより、OAフロアが陥没したり、サーバやディスクに多数の障害が発生。
建屋自体の被害により当日は全職員の立ち入り不可。
- ・停電による障害
揺れが収まる前に停電となり、UPSや非常用発電機でバックアップされるが最長5時間程度で完全停電となった。翌日以降部分的に復電したが、使用可能な電源容量が限定的である上に、再停電の可能性が有るため、3日程度は最低限の機能での運用となった。

被害・障害によるインパクト

- ・全観測網: 停電以降の防災科研におけるデータ収集・自動処理の停止。
- ・Hi-net/F-net: 気象庁・大学等へのデータ提供はEarthLANにより継続(除く現地障害の場合)。ただし、本震直後は大規模な通信障害(や停電)があったため、緊急地震速報へのデータの提供に大きな支障を生じた。
- ・K-NET: 震度情報ネットワークの一部を構成しているK-NETの震度情報の気象庁への送付がストップ。
- ・インターネット接続途絶により、全てのデータ・情報公開がストップ。

【地震観測施設の被災状況】



志津川観測点(宮城県南三陸町)



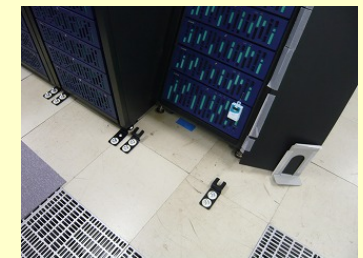
仙台観測点(宮城県仙台市)



北上観測点(岩手県北上市)



田老観測点(岩手県宮古市)



OAフロアの陥没